

サテライト講習

東京で行われる最高の講師陣の講習を
名古屋・大阪のサテライト会場でリアルタイムに受講!

～建設現場での法令違反防止やリスク対応～

建設業法等の法令と 具体的災害対応の講習

“CPDS登録”

講習日時・講義内容

A
コース

平成25年
11月18日(月)
9:10～17:00

現場で遵守すべき 建設業法・裁判事例

- 1 建設業法における技術者制度
- 2 建設工事の適正な請負契約
- 3 裁判事例から学ぶ工事のトラブル防止

B
コース

平成25年
11月19日(火)
9:10～17:00

建設現場の 環境法令と安全衛生管理

- 1 建設工事に関する環境法令
- 2 建設廃棄物管理のポイント
- 3 労働災害における書類送検事例と刑事・民事責任

C
コース

平成25年
11月20日(水)
9:10～17:00

建設現場での リスク対応

- 1 「安全・安心・安定」な社会づくり
- 2 災害と老朽化に対応した技術と対策
- 3 災害時の液状化、その実態と対策

こんな講習です!

- ・東京で実施する講習を、映像伝送(インターネット回線)により、主要都市(今回は名古屋・大阪)の講習会場で同時に放映し、受講していただけます。
- ・遠方の方や長期研修に参加するのが難しい方でも、近くの会場で1コース1日単位の講習で、**短期集中**して知識・技術を学べます。
- ・各会場から双方向に講師と**リアルタイム**で質疑応答が行えます。
- ・各コースともCPDS^注((一社)全国土木施工管理技士会連合会)の登録講習です。
- ・期間内であれば、受講後も講義内容の質問をメールでお受けいたします。

^注 平成24年度より地方(サテライト)会場の学習履歴は、年間6ユニットの上限がなくなりました。

受講者の声

- 地方の技術者が受講できるので、さらにほかの講習も実施して欲しい。(民間 50代)
- 受講後にもメールで質問できるのが良い。(公務員 40代)
- 会場が主要駅の近くで便利。(民間 30代)
- 質疑応答できるところが良い。(公務員 50代)
- CPDが推奨されているので、地方にも、このようなサテライト式の講習があった方が良い。(民間 40代)
- すぐ前に講師の先生がいるような感じ。これからも発展させて欲しい。(民間 30代)

アクセス渋谷フォーラム
メイン会場／東京(渋谷)



東京都渋谷区渋谷2-15-1
渋谷クロスタワー24階
JR山手線「渋谷」駅より徒歩3分

コンベンションルームAP名古屋名駅
サテライト会場／名古屋



愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25
名駅IMAIビル7・8階
JR東海道線「名古屋」駅より徒歩約5分

アクセス梅田フォーラム
サテライト会場／大阪(梅田)



大阪市北区小松原町2-4
大阪富国生命ビル12階
JR「大阪」駅より、地下街を通じて直結

A
コース

平成25年
11月18日(月)
9:10～17:00

現場で遵守すべき 建設業法・裁判事例

9:10～9:20 講習についての説明

1時限目 9:20～11:30(130分)※

建設業法における技術者制度

業法違反にならないために、押さえておくべき基本的な事項や専任義務緩和などの最新の改正事項を事例を交え解説します。

建設工事の施工管理法令研究会 専門委員
元 国土交通省 中国地方整備局 営繕調査官
坂野 稔

11:30～12:30(60分) 昼食休憩

2時限目 12:30～14:40(130分)※

建設工事の適正な請負契約

建設工事の請負契約において、遵守すべき法令のポイントや社会保険未加入問題など最新の改正事項を事例を交え解説します。

建設工事の施工管理法令研究会 専門委員
元 国土交通省 中部地方整備局 営繕部長
金田 興一

14:40～14:50(10分) 休憩

3時限目 14:50～17:00(130分)※

裁判事例から学ぶ 工事のトラブル防止

工事のトラブルに対する裁判所の判断は、トラブル防止を考える上で重要な手がかりです。具体的トラブル事例に対する裁判所の判断を解説します。

TMJ総合法律事務所 弁護士 富田 裕

※各講習科目(130分)には、途中休憩(10分)・質疑応答(10分)が含まれます。

●各コースの最後に講習修了証をお渡しします。

講習科目及び講師は変更する場合がありますので、ご了承ください。

B
コース

平成25年
11月19日(火)
9:10～17:00

建設現場の 環境法令と安全衛生管理

9:10～9:20 講習についての説明

1時限目 9:20～11:30(130分)※

建設工事に関する環境法令

環境法令の改正内容を基本に解説します。特に大気汚染防止法の石綿粉塵の改正やフロン回収破壊法の改正、土壌汚染対策法などについて解説します。

鹿島建設株式会社 安全環境部 次長
米谷 秀子

11:30～12:30(60分) 昼食休憩

2時限目 12:30～14:40(130分)※

建設廃棄物管理のポイント

毎年の改正や数多くの通達を基に廃棄物処理法を中心に、また、建設工事で廃棄物を管理する上で知っておくべきポイントを事例を基に解説します。

株式会社大林組 本社 環境部 副部長
斎藤 正人

14:40～14:50(10分) 休憩

3時限目 14:50～17:00(130分)※

労働災害における 書類送検事例と刑事・民事責任

元請け下請けの守るべき安全衛生法のポイントを書類送検事例から解説します。また、災害発生時の刑事・民事責任の理解と対応を事例を交えて解説します。

建設工事の施工管理法令研究会 専門委員
元 清水建設株式会社 東北支店 安全環境部長
相蘇 淳一

C
コース

平成25年
11月20日(水)
9:10～17:00

建設現場での リスク対応

9:10～9:20 講習についての説明

1時限目 9:20～11:30(130分)※

「安全・安心・安定」な社会づくり

地震や異常気象などの予測し得ない災害に建設業はどう備えるか、不測の事態における会社組織の維持管理の在り方について、東日本大震災での対応実績を交えて解説します。

鹿島建設株式会社 土木管理本部 安全推進部 部長
須藤 英明

11:30～12:30(60分) 昼食休憩

2時限目 12:30～14:40(130分)※

災害と老朽化に対応した技術と対策

災害により受けたコンクリート関連の被害の実態と、今後の対応について、また、老朽化した構造物の延命化について、それぞれ事例を交えて解説します。

広島工業大学 工学部都市デザイン工学科 教授
十河 茂幸

14:40～14:50(10分) 休憩

3時限目 14:50～17:00(130分)※

災害時の液状化、 その実態と対策

災害時に発生した液状化被害の実態をメカニズムや事例紹介を含め説明し、復旧の方法や今後の対策について詳しく解説します。

東京電機大学 理工学部 教授 安田 進

講習申込

講習のお申込は、ホームページより受付いたします。
ホームページの「申込の流れ」をご確認いただきお申込みください。

当センターホームページ <http://www.jctc.jp/>

申込期間

平成25年8月26日(月)～11月8日(金)

※11月8日以降に申込みを希望される場合は、お電話にて問合せください。

募集人数・受講費用(各コース)

メイン会場
東京(渋谷) 100名 15,000円/人

サテライト会場
名古屋・大阪 各100名 12,000円/人

※受講費用にはテキスト代・消費税が含まれています。

※各会場定員になり次第締切りとさせていただきます。

※お申込後のキャンセルは、会場の都合もあり、極力ご遠慮ください。

問合せ先



一般財団法人
全国建設研修センター
事業推進室 サテライト講習係

ご質問等は電話で、お気軽にお問合せください。

<http://www.jctc.jp/>
042(300)1741

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2